

## 上信越：鼻曲山

- ◆日程 2019年3月22日(金)
- ◆メンバー L：大山、大塚
- ◆天候 晴れ

群馬県と長野県の県境に位置する鼻曲山(1,654m)、浅間山の展望が素晴らしいとの情報から山行を計画した。戸塚駅5:30に大塚さんをピックアップし車で登山口である二度上峠を目指した。平日ということもあり予定より少し早く9:20頃に二度上峠へ到着した。峠の駐車スペースからは浅間山が目前に見えたが、その雪の多さに驚いた。近年の暖冬と最近の暖かさから雪は少ないと予想していたが意外であった。当然、鼻曲山への登山道も雪が確認できた。登山口付近は僅かに雪が残る程度であったため、まずは滑り止めなしで登り始める。

まずは中間手前にある氷妻山(1,467m)を目指す。獅子岩と小ピークがあり多少のアップダウンはあるが、残雪も多くはなく歩きやすいルートである。氷妻山直下で若干勾配がきつくなり、残雪も多くなったが、ほぼ予定通りに氷妻山に到着できた。

氷妻山から鞍部へ降りたところで残雪が多くなってきたためチェーンアイゼンを装着した。登山道には雪が被っているが、比較的ルートは明瞭で、ピンクリボンもあるので迷うことはない。次第に雪が深くなり、鼻曲山への登りが始まる。深いところでは膝下まで踏み抜くこともあったが、先頭を代わりながら鼻曲山(小天狗)へ到着した。この小天狗からも浅間山が臨める。朝のうち山頂にかかっていた雲も取れ、見事な山容を見ることができた。浅間山と軽井沢や妙義方面の展望を楽しんだのち、100mほど東へ進むと、鼻曲山山頂(大天狗)に立つことができた。風を遮る乾いたスペースがあったので、ここで昼食とした。

昼食後はさらに南下し鼻曲峠の先にある金山を目指す。地形図では山頂から南東へルートが伸びているが、見つけられない。二人で地図をにらむこと10分程度、来た道を引き返すとすぐに南へ下る踏み跡を見つけることができた。霜積温泉と書かれているので、鼻曲峠へのルートで間違いのないようだ。山頂から急降下し再び尾根沿いを南下する。ほぼ南向きルートのため下りは南斜面で雪が少ないが、登りが始まると北斜面で雪が多く残っている。鼻曲峠付近と金山への登りは再び数十センチの残雪となり、悪戦苦闘の末、何とか金山(1,602m)へ到着した。

復路は逆に北上するルートで、雪が多く残る北斜面を下ることになる。午後から冬型の気圧配置で気温が下がる予報であったが、思いのほか気温は高く、ズブズブの残雪に苦労しながらの下山となった。下りの終盤、獅子岩の手前に「獅子岩の頭」の標識が出ている。往路ではスルーしていたが踏み跡があったため登ってみると、これが最高の展望であった。浅間山、浅間隠山はもちろん、草津白根山、赤城山、谷川連峰などなど、周りの山を一望できるまさに展望台であった。獅子岩を後にし、二度上峠に着いたのは予定より一時間遅れの16時前であった。(記：大山)

平日だったこともあり、誰にも遭遇しなかった。静けさの中、残雪と絶景を独占できたのは幸運というほかない。スパッツを忘れてブーツに雪が入り放題だったが。(記：大塚)



CT：二度上峠 9:34 - 氷妻山 10:15 - 小天狗 11:54 - 鼻曲山 12:04/13:09  
 - 鼻曲峠 13:22 - 金山 13:35 - 鼻曲峠 13:48 - 小天狗 14:10 - 氷妻山 15:10  
 - 二度上峠 15:5